

令和7年度

第3回市政モニター  
提言書作成会議

みとの魅力発信課 市民相談室

## 次 第

開会

市政モニター会議について

市政モニター提言書作成マニュアルについて

提言についての意見交換

事務連絡

閉会

# 市政モニター提言書作成会議について

## 1 市政モニター提言書作成会議とは

市政モニター提言書を作成するために、複数回会議を開催します。会議においては、それぞれの方が作成した提言様式を基に意見交換を行い、皆様がつくりたいと思う未来のまちの姿を磨き上げたり、他の方との意見の統合をしたりしていただきます。

これにより、市政モニター活動の趣旨の達成を図ります。

### ○参考：市政モニター活動の趣旨

より良い広聴環境の形成のため、20歳～39歳の若い世代に市政を紹介するとともに、市政を研究した御意見等を市にいただくことを活動の趣旨としています。

### 会議スケジュール（予定）

会議	期日	内容
第1回	5月23日（金）	・テーマである「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」の検討
第2回	7月8日（火）	
第3回	9月16日（火）	
第4回	11月下旬頃	・市からの情報提供
第5回	1月上旬頃	・テーマである「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」の検討及び提言書の校正
発表会	2月下旬頃	・市長への提言内容の発表方法等の確認 市長へ提言書提出  （参考）令和6年度市政モニター提言書 テーマ：水戸市の移住や定住の促進に向けたまちづくり 提言1「社会的養護をうけ、子どもが最善の利益を得られるまち」 提言2「Pre-primaryからはじまる学修支援」 提言3「近くに支援者がいない家庭でも安心子育てができる水戸」 提言4「ハンディキャップがあっても大丈夫！ 私たちの子→孫→その先もずっと、子育てしたい水戸市を目指して」 提言5「自然環境あふれるまちで利便性が良くて優れた教育が受けられるまち」

## 2 まちづくり（市政）について

市政モニター活動の趣旨にある，市政の研究とは，まちづくりに詳しくなっていくことと言い換えることができます。

物事には「目的」と「手段」がありますが，まちづくりの目的とは，「私たちがこれからつくろうとする，理想のまちの姿」を意味し，まちづくりの手段とは主に行政活動等を意味します。

この目的である「私たちがこれからつくろうとする，理想のまちの姿」を決めるのは，主権者である市民の皆様になります。

つまり・・・

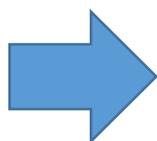
「私たちがこれからつくろうとする，理想のまちの姿」を市民一人一人が考え，市民同士で話し合うことがまちづくり（市政）の本質（＝一番大事なこと）になります。

（参考）市民と行政の関係のイメージ  
上記をイメージで表すと以下ようになります。

【市民】



市民が決める

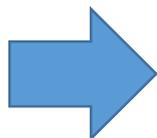


目的

【行政】



主に行政が決める



手段

理想のまちをつくるには，目的を「具体的に」伝えることが大事！

### 3 まちづくりの仕組みについて

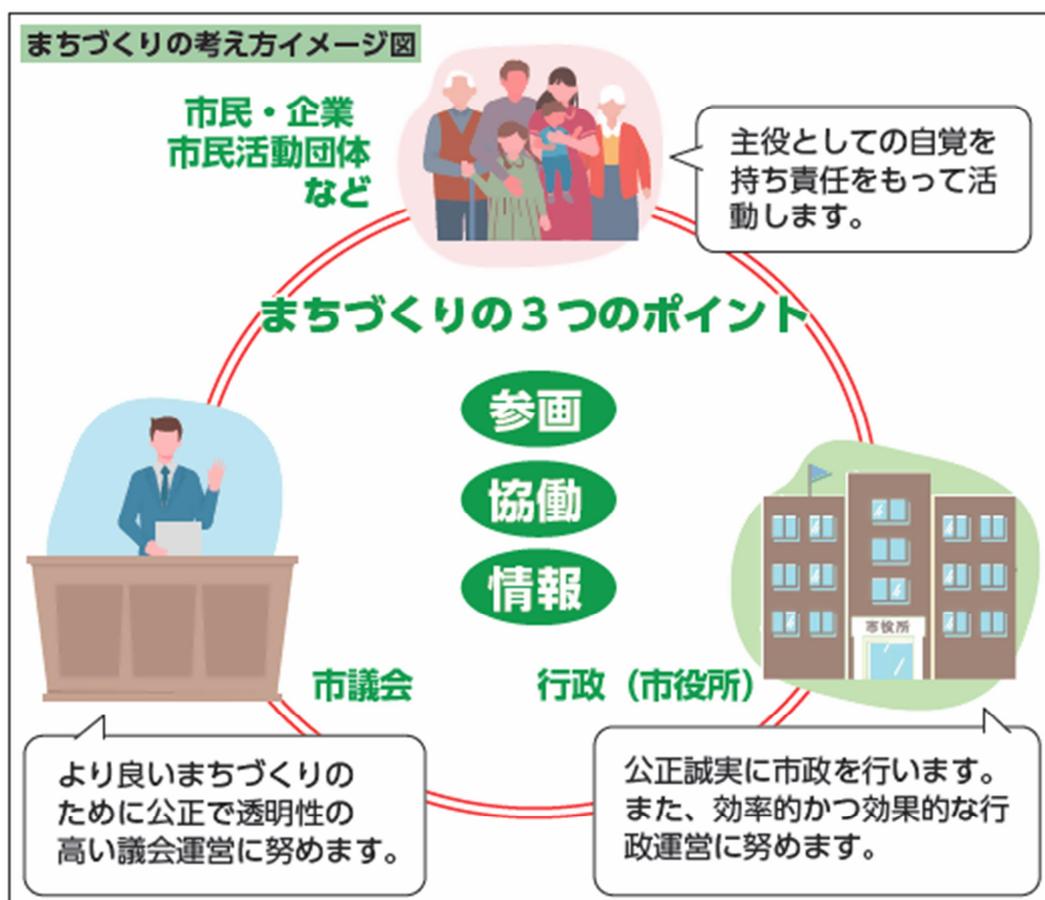
まちづくりは、行政だけでなくそれぞれの人や組織が、それぞれの立場・役割から社会全体で行っていくものです。

具体的には、主に「市民（※）」、「議会」、「行政」の三つの立場があります。その三者がそれぞれの立場からそれぞれの役割を發揮することで、まちづくりは運営されていきます。

そのため、前ページのとおり、市民が一番重要となるまちづくりの目的を定める立場であり、まちづくりの主役になります。

※市民には、団体、法人、企業等も含まれます。

（参考）まちづくりにおける「市民」、「議会」、「行政」のイメージ



【八潮市ホームページから引用】

<https://www.city.yashio.lg.jp/shisei/shiminsankaku/jichikihonjorei/jichikihonjorei.html>

## 4 提言書作成の流れ

提言書作成の具体的な流れは次のとおりです。

### 1：提言様式の作成・提出

「市政モニターまちづくり提言書作成マニュアル」を基に提言様式に必要事項を記入し，市民相談室へ御提出ください。なお，未完成の状態でも構いません。

※提言様式の作成・提出は任意となりますが，ぜひ取り組んでみてください。なお，提言様式の御提出は一人一枚までとさせていただきます。

※提出期限を9月末とし，それ以降はブラッシュアップの期間とする予定です。



### 2：担当職員との打ち合わせ

御提出いただいた提言様式を基に，担当職員と打ち合わせを行います。



### 3：それぞれの御意見を基に，会議で意見交換

市政モニター会議時点で提出されている提言様式を提言書へ転記します。それを基に市政モニターの皆様で意見交換を行い，提言の内容等をさらに深めるとともに，同様の御意見の方同士で提言をまとめていただきます。

また，水戸市の取組に関する情報を市民相談室から提供いたします。

※提言様式をご提出されていない方も会議へ御出席いただき，意見交換に御参加いただきます。



### 4：提言書の完成

会議での話し合い等を踏まえ，市民相談室が提言書（素案）を作成します。それを市政モニターの皆様で確認し，提言書を完成させます。



### 5：提言書の提出・発表

市政モニターの皆様から市長へ提言書を提出し，提言書の内容の発表を行います。

市長からは発表に対してのコメントをいたします。



## 5 会議のテーマ

「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」をテーマとして、意見交換をお願いします。皆から選ばれるとは、移住や定住するまちとして皆が水戸市を選ぶということです。

そのため、『水戸市で暮らしたい！』と多くの方から選んでもらえるまちづくりについて、ぜひ、活発な意見交換をお願いします。

### ○参考

- ・意見交換の時には、数名ごとにグループを作ります。もしも「皆から選ばれる」「移住・定住」という言葉では話しづらい時には、子育て、教育、福祉、防災、地域コミュニティ、スポーツ、などなど、話しやすい身近なジャンルをグループごとに設定し、そこから意見交換を始めていただいても構いません。

## 6 会議のルール

円滑な運営のため、以下のルールへの御協力をお願いいたします。

### ○会議のルール

- ・自分たちのまちの未来は、自分たち（市民の皆様）で決めるのが現在のまちづくりの制度です。そのため、世の中の風潮等ではなく、御自分が持たれている率直な考えを基に意見交換をしてください。
- ・自分とは意見が違う方がいたとしても、自分と相手の意見のどちらにも一理あるため、お互い丁寧に御自分の考えの良いところを伝えてください。
- ・意見交換の際には、皆から共感されるような、より良い新たな意見を見つけ出すことを意識してください。特に、「良いまちとは何かを皆で自由に考え、話し合うこと」を意識しながら意見交換をお願いします。
- ・会議の場での御発言と皆様が提出される提言は内容が違ってしまっても構いませんので、自由に積極的な御発言をお願いします。なお、多くの人の意見を聞くことができるように、皆が話しやすい場づくりへの配慮をお願いします。

- 自分と似た考えをお持ちの方がいた場合には、極力提言様式を一つにまとめていただくよう御協力をお願いします。（市民相談室がまとめるサポートを行います。）
- 「良いまちとは何か」を考えるにあたっては、皆が納得できる客観的な答えがあると想定して、話し合いを進めてください。

（参考）「良いまちとは何か」を考える時、「皆が納得できる客観的な答えはない」と想定した場合

この時、「良いまちの答えは人それぞれ」となります。

そうすると、話が平行線になってしまい、他者との議論がまとまらなくなってしまいます。

同様に、自分の中で「良いまちA」、「良いまちB」というように複数の考えが浮かんだ時に、どちらも正解となってしまう、自分の中でも答えがまとまらなくなってしまいます。

そのため、他の人との議論もまとまらないし、自分の中で考えをまとめることもできない、ということになってしまいます。

その結果、何らかの行政サービスを提供する時、目指すまちの姿をまとめることができず、良い行政サービスを判断する基準も無くなってしまいます。

#### 【日常生活の例】

上記を日常生活で例えると、友達と何のご飯を食べに行こうかと話し合っている場面を挙げることができます。

#### ①皆が納得できる客観的な答えがあると想定する場合

この場合には、初めは自分と友達の意見が違っていても、話し合えば共に納得できる答え（共に食べたいと思える料理）を見つけることができるだろう、と話し合いを続けることができます。

#### ②皆が納得できる客観的な答えが無いと想定した場合

この場合には、自分と友達の意見が違ってしまった時点で、「食べたい料理は人それぞれ」という答えになってしまい、そこで話し合いが終わってしまいます。

現在御提出いただいている提言様式

## テーマ「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」

### 提言様式

項目	内容
ア	<p><b>テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル</b></p> <p>自然あふれるまちで活気ある教育と安心して育児できるまち</p>
イ	<p><b>項目アの内容</b></p> <p><b>・まちの環境について</b></p> <p>私が理想とする水戸市は、こどもたちが自分の望む教育を受けることができ、子育てがしやすい環境が整っているまちです。</p> <p>教育面では、市内在住のこどもだけでなく、近隣市町村のほか東北地方の南部や首都圏などの県外からもこどもが通いに来る、市を代表する国公立・私立小中学校があります。この小・中学は、駅周辺を中心市街地であり、市外からもアクセスしやすく、市郊外にある小・中学校はコミュニティバスが走っており通いやすいです。これらの学校では、生物やビオトープなどの生態系を研究するため、顕微鏡や地域に根付いた図書館など調べられる環境があります。国立・市立・私立小学校と設置区分はされているが、水戸市は、市内全ての小・中学校の生徒に対して無償貸出タブレット使用や学校給食調理場の利用など、前例のない教育に予算拡充を計画しています。</p> <p>東北地方のイメージ：山や川などの自然に囲まれた環境、教育事情に関しては情報が閉鎖的な部分がある</p> <p>首都圏のイメージ：商業施設が充実、人工的な自然は存在。受験戦争。</p> <p>水戸：都内にアクセスしやすい。自然がたくさんで子育てしやすい。</p> <p><b>・市民の活動について</b></p> <p>まず、子育て面では、はみんぐぱーく、わんぱーく、図書館が子育てを重視した設備やサービスが存在しています。例えば、資格を持つ育児コンセルジュが常駐して一時預かりサービスを提供していたり、子育て講演会や復職や税金セミナー（国税庁による）が開催されています。</p> <p>この図書館の一時預かりサービスは、ファミリーサポートと比べて、事前予約不要で、当日の先着順です。育児に行き詰った親御さんがその日その時の気分で利用することができます。待ち時間は、子供や大人が読みたい本をゆっくり探したり、大人が読書できる時間も確保できます。その間、子供は、目の届く同施設の託児部屋にて、コンセルジュの先生と子供は遊ぶことができるため敷居が低く、大人子供共に気分転換することができます。対象年齢は、1～6歳（理想は生後10か月～）で一回につき6人まで</p>

	<p>入室でき、預かり時間は1時間15分。加えて、図書館には子供が勉強する自習スペースが充実しており、小・中学生の子供たちの居場所の確保に繋がります。一時預かりサービスを利用しなくても育児コンサルジュがいることによって、子育ての悩みを相談することができます。はみんぐぱーく・わんぱーくでは、遊び場があり子供を見ながら親同士のコミュニティの場にもなります。</p> <p>次に、出産後の母親やその家族が心身ともに休むための産後ケアホテルが存在しています。1泊一部屋5000円程度（食事・サービス料金別途）で赤ちゃんの両親と兄弟も必要時泊まることができます。その施設には助産師がおり、希望すれば赤ちゃんや兄弟を預かってくれ、兄弟（赤ちゃん返りなどがみられても）と向き合う時間と、赤ちゃんとの時間をそれぞれ確保しながら、新しい家族生活が構築を図ることができます。父親にも父親としての妻への関わり方や産後の母体と新生児の体の変化なども助産師が指導することによって、男性の育児参入の手助けになると考えます。産後ホテルには、レストラン、兄弟の遊び場、マッサージ、カフェなどが入っており、追加料金は非常にリーズナブルに利用することができます。</p> <p>水戸駅北口にはドラックストアやスーパーや日用品や衣料品店や総合病院（周産期センターを含む）があるので、子育て世代や免許返納した高齢者にとって安全に快適に過ごすことができます。免許返納した高齢者には返納後1年間タクシーやバスの利用料金を免除するなどのメリットもあります。</p> <p><b>・まちの魅力について</b></p> <p>この自然環境や歴史や文化に日常的に触れあえる環境で育った水戸市の子供達は、好奇心を持ち、積極的に学ぶことができ、自ら小・中学校を選択して行くことができます。</p> <p>進学の実選択肢が多くある事で、多彩な才能と分野が開花し、水戸の企業の進展に繋がります。他県から通学する子供や転入者が増える事で若い世代（0～10代）を持つ子供や地方移住の高齢者などが多く集まり、活気溢れる町になっています。</p>
ウ	<p><b>項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力</b></p> <p>水戸市内に在住している小・中学校の環境充実</p>
エ	<p><b>項目ウを実現させるために解決すべき課題</b></p>

<b>オ</b>	<b>項目工を解決・改善する取組</b>
	<b>備考</b>
	<p>一時的に移動：</p> <p>水戸市には、様々な学科と偏差値の高等学校が存在しています。現在、水戸市内には公立小学校31校、私立小学校2校、国立小学校1校（水戸市、ひたちなか市、那珂市一部から通学可）が存在。私が理想とする水戸市は、歴史や文化を大切にしながら、市外在住の人も通学したいと思えるような私立の小・中学校が存在し、学園都市のような未来と活気溢れるまちであることです。</p>

テーマ「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」

提言様式

項目	内容
ア	<p><b>テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供も母親も輝けるまち</li> <li>・ もう一人産めるまち</li> </ul>
イ	<p><b>項目アの内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>まちの環境について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅広い年齢層の人が住んでいる</li> <li>・ 公共施設が多い</li> <li>・ 人口が多い</li> <li>・ 働く場が多い</li> <li>・ 利便性が良い</li> <li>・ 預け先が多い</li> <li>・ 産婦人科、大きい病院が多い</li> </ul> </li> <li>・ <b>市民の活動について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファミサポ等サポート体制がある</li> <li>・ スクールガードがいる</li> <li>・ 託児ボランティアがある</li> <li>・ 公共施設（図書館）でのお話会、託児、ものづくり教室</li> </ul> </li> <li>・ <b>まちの魅力について</b> <p>幅広い年齢層の人が多く住んでおり、アクセスも良く、いろいろな公共施設を利用することが出来る。妊娠期のトラブルにも対応しやすく安心して産み、育てられる環境。 預け先の選択肢も多く自分にあつたところを希望できる。</p> </li> </ul>
ウ	<p><b>項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物価高、少子化が進むなかでも「もう一人産みたい」という希望を持って、叶えられる</li> <li>・ 子育てと家庭、仕事を無理なく回せる環境</li> </ul>
エ	<p><b>項目ウを実現させるために解決すべき課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供に十分目と手間をかけながら、働いて社会とのつながり、収入を維持できる環境をつくる</li> </ul>
オ	<p><b>項目エを解決・改善する取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就労時間の制限なく保育園を利用できる（64時間/月以上の制限をなくす）</li> <li>・ 子供に無理をさせない時間での働き口の紹介</li> <li>・ 0-2歳の保育園児の保育料の支援</li> </ul>
	<p><b>備考</b></p>

テーマ「水戸市が皆から選ばれるまちづくり」

提言様式

項目	内容
ア	テーマに対して、私がつくりたい水戸市のタイトル
	気軽に産後ケアを受けられるまち
イ	項目アの内容
	<p>・まちの環境について</p> <p>私が理想とするまちは、誰でも気軽に産後ケアを受けられるまちです。どんな環境の家庭であっても、気軽に近場で産後ケアを受けられることで、産後の不安定な身体や気持ちを軽減させることができます。</p>
	<p>・市民の活動について</p> <p>このまちでは、家事や育児の支援が受けられても受けられなくても誰でも産後ケアを受けることができます。施設も市内にいくつもあり、遠出しなくても産後ケアを受けられます。</p> <p>・まちの魅力について</p> <p>私が理想とするまちは、たくさんの産後のお母さんやその家族が産後ケアを気軽に受けられることにより、産後への不安が軽減され、安心して出産できるため、その後も無理をしない環境で育児ができるまちとなっています。</p>
ウ	項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力
	安心して産後ケアを受けられること
エ	項目ウを実現させるために解決すべき課題
オ	項目エを解決・改善する取組
	備考